

平成28年1月～3月期  
地域産業経営動向調査  
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関  
堺商工会議所 〕

## 調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数D I 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所800社（建設業200社・製造業200社・卸売業100社・小売業100社・サービス業200社）
3. 調査期間 平成28年3月14日（月）～平成28年3月31日（木）
4. 回収率

	調査対象数	回収数	回収率
建設業	200社	114社	57.0%
製造業	200社	122社	61.0%
卸売業	100社	56社	56.0%
小売業	100社	53社	53.0%
サービス業	200社	108社	54.0%
全産業	800社	453社	56.6%

### 【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- D I 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

### 【各項目別のD I 値の意味について】

- 業況判断 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。  
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … D I 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。  
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

# 調査結果の概観

今期(1月～3月期)の前年同期比を見ると、資金繰りは改善し、業況判断は横ばいとなった。しかし、売上高は悪化傾向が3期連続、採算も2期連続の悪化、さらに雇用人員についても悪化となった。

来期(4月～6月期)の予測については、業況判断、雇用人員は改善、採算は横ばいとなっているものの、売上高はやや悪化、資金繰りは悪化となっており、市内中小企業の動向については、引き続き注視していく必要がある。

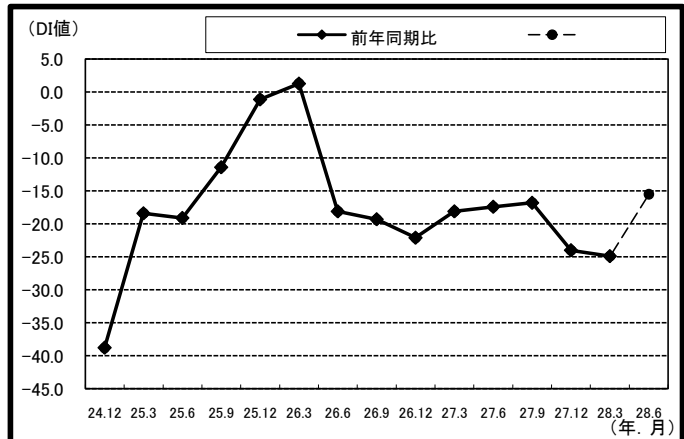
## 1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は横ばい。  
( $\Delta 24.0 \Rightarrow \Delta 24.9$ )

・来期見通しの指標は改善と予測。  
( $\Delta 24.9 \Rightarrow \Delta 15.5$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は横ばい。製造業、卸売業は2期連続で悪化。小売業は改善。サービス業はやや改善。

・前年同期比の指標は横ばい。



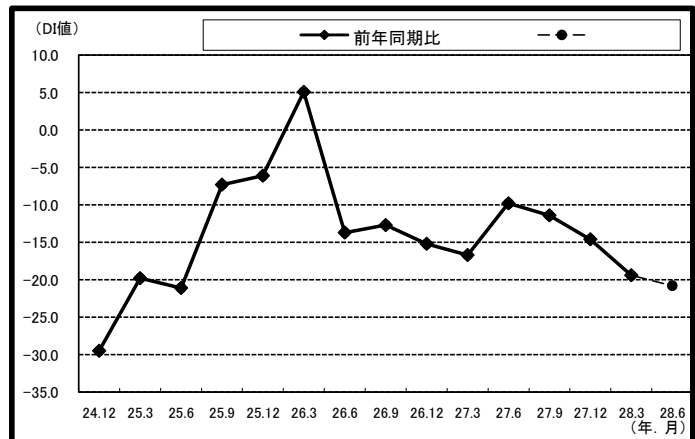
## 2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は悪化し、悪化傾向は3期連続。  
( $\Delta 14.6 \Rightarrow \Delta 19.4$ )

・来期見通しの指標はやや悪化と予測。  
( $\Delta 19.4 \Rightarrow \Delta 20.8$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は悪化。製造業、卸売業は2期連続で悪化。小売業は改善。サービス業はやや改善。

・前年同期比の指標は悪化し、悪化傾向は3期連続。



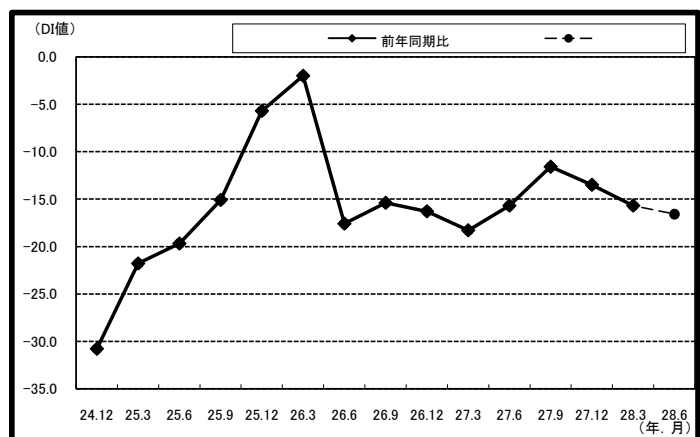
## 3. 採算の動向

・前年同期比の指標は2期連続やや悪化。  
( $\Delta 13.5 \Rightarrow \Delta 15.7$ )

・来期見通しの指標は横ばいと予測。  
( $\Delta 15.7 \Rightarrow \Delta 16.6$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は横ばい。製造業は悪化。卸売業は2期連続で悪化。小売業は改善。サービス業は2期連続でやや改善。

・前年同期比の指標は2期連続でやや悪化。



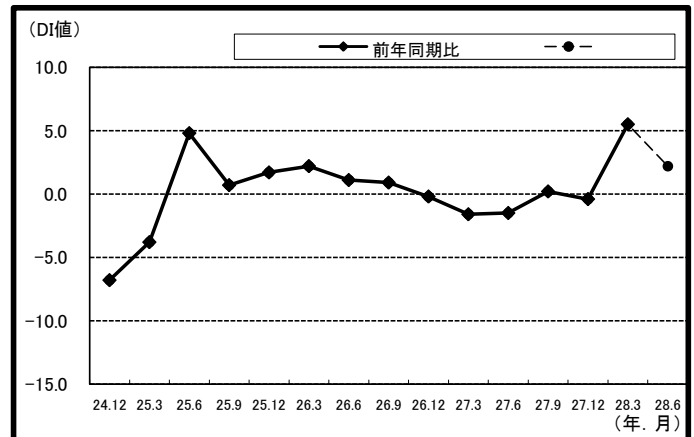
#### 4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標は改善。  
( $\Delta 0.4 \Rightarrow 5.5$ )

・来期見通しの指標は悪化と予測。  
( $5.5 \Rightarrow 2.2$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は改善。製造業は横ばい。卸売業は2期連続で改善。小売業、サービス業は改善。

・前年同期比の指標は改善。



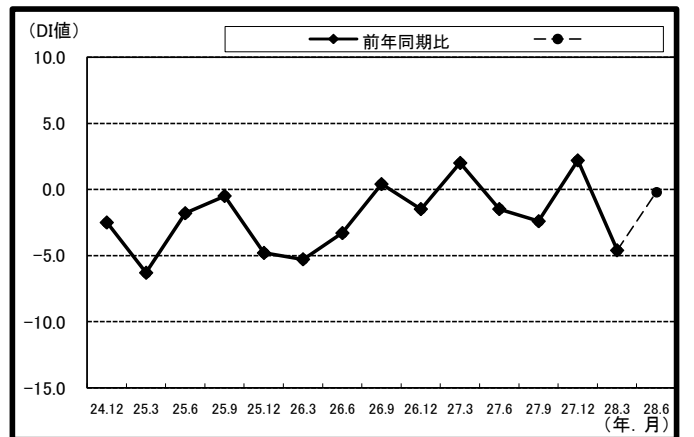
#### 5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標は悪化。  
( $2.2 \Rightarrow \Delta 4.6$ )

・来期見通しの指標は改善と予測。  
( $\Delta 4.6 \Rightarrow \Delta 0.2$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、製造業、卸売業は悪化。小売業は横ばい。サービス業はやや改善。

・前年同期比の指標は悪化。



### 来期見通し

平成27年4月～6月期と比較した平成28年4月～6月期の見通しは、業況判断、雇用人員は改善、採算は横ばい、売上高はやや悪化、資金繰りは悪化と予測している。